

女性局の活動を再確認 料理体験企画で活動を広げる



「本日は女性局幹事会と料理体験企画があり、多彩な内容となっています。一緒に楽しみながら学びましょう」とあいさつをする三原じゅん子女性局長

4月11日、党本部女性局役員と各都道府県連ブロックの代表者が参加し、女性局幹事会が党本部で開催されました。また、女性局役員も参加して料理体験企画も行われ、調理のテクニックを学びました。

党女性局役員と各地域の女性局幹事が集まり女性局規約や被災地支援活動などを確認

女性局幹事会は、大沼みずほ女性局長の司会で始まりました。最初に三原じゅん子女性局長から「今国会も折り返し地点を過ぎ、各法案が次々と順調に成立している。これは衆参のねじれが解消されたためであり、皆さまのご協力の賜物です。本日の幹事会では皆さまから様々な意見を頂戴したい」とあいさつがありました。

党本部女性局役員、都道府県連ブロックの代表者から、それぞれのあいさつを終えた後、女性局規約改定について説明がありました。改定の主なポイントは、組織名称・会議名の統一、幹事会制度の変更などで、6月6日に山梨県で行われる全国女性部（局）長会議にて規約改定を決議する予定です。

次に、三原じゅん子女性局長より平成26年東日本大震災被災地支援活動の説明がありました。

主な活動は「女性局幹事会・党女性局役員による被災地訪問」「県連単位でチュリップの球根を被災地の企業を通じて購入し、その一部を被災地に贈呈」などで、今後も被災地に寄り添う活動を継続して展開していくことが確認されました。

引き続き、高階恵美子女性局長代理・女性の健康の包括的支援に関するプロジェクトチーム座長から現在進めている政策「女性の健康の包括的支援の実現に向けて（3つの提言）」について報告がありました。高階恵美子

女性局長代理・PT座長は「日本の女性の健康政策に関する取り組みは十分ではない。次の3点を提言していきたい。一つめは、生涯を通じた女性の健康支援の充実強化。二つめは、安全な出産環境の再構築。そして三つめは、女性の健康を包括的に支援する政策を推進する法的基盤と体制の整備」と説明しました。さらに、これらの提言を取りまとめ「女性の健康の包括的支援に関する法律（仮称）」として、議員立法で今国会に提出したい考えを明らかにしました。

「女性の健康の包括的支援の実現に向けて」 3つの提言

提言1 生涯を通じた女性の健康支援の充実強化

女性の健康を効果的に保持増進するため、人生各期において女性の健康が適切に支援されるよう、国、地方公共団体、関係団体、医療機関等の各主体が連携し、必要な措置を講じること。

- (1) 女性の健康支援に向けた教育・養成プログラムの改革
- (2) 「女性総合診療」という新たな専門分野の確立等
- (3) 女性のがん検診受診率の向上
- (4) 女性専門の健診・診療施設の設置の促進
- (5) 性暴力や配偶者等からの暴力被害等の対策の充実

提言2 安全な出産環境の再構築

妊娠・出産を希望する方が、授かった生命を安全に迎え入れることのできる体制を地域毎に整備・再構築すること。

- (1) 女性が出産しやすい労働環境の整備
- (2) わかりやすい産科情報の提供と、分娩施設の計画的かつ適切な配置
- (3) 産前・産後ケア等の充実

提言3 女性の健康を包括的に支援する政策を推進する法的基盤と体制の整備

これからの日本社会において、女性が存分にその能力を發揮し、輝いて人生を送ることができるようにするために、人生各期における女性の健康を包括的に保持増進するための基盤法を整備するとともに、政府内に女性の健康を包括的に支援するための推進体制を設けること。

- (1) 法律
 - ・女性の健康を包括的に支援する政策を推進するため、「女性の健康の包括的支援に関する法律（仮称）」の制定をめざす
- (2) 推進体制
 - ・女性の健康を包括的に支援するための推進体制を厚生労働省に設け、新法に基づく基本方針の策定、協議会の運営等の事務を担当

コンロの火力を使い分け、段取りよく調理
手早くできる、おいしい料理にチャレンジ



調理の説明を真剣に聞く参加者



今回調理した、グリーンピースとほたての
パスタ、季節の野菜の素揚げ、グリル
ハーブチキン、新玉ねぎのスープ

女性局幹事会の後、女性局役員と各都道府県連ブロックの代表者は銀座にある料理スタジオ「東京ガスStudio+GINZA」に移動し、女性局料理体験企画に参加しました。

冒頭、企画に協力いただいた東京ガス(株)三神正博取締役・常務執行役員よりあいさつがありました。三神取締役は、東京ガスが大正2年(1913)から料理教室を始め、昨年100周年を迎えたことを説明。「私たちは、料理を作り食事をすることを通して、家族の絆をつなぐ食の重要性を訴えてきました。

自民党でも、家族を単位に地域社会とその結びつきが非常に重要だとうかがっています。私たちも同じ気持ちです」と述べました。

続いて、三原じゅん子女性局長は「政府自民党は、2020年までに指導的地位にある女性の割合を30%にする政策を打ち出している。さらなる経済成長を私たち女性が要とならない。上げていかなければならない。仕事にも、子育てにも全力で取り組み、子供においしい手料理を作ってあげたい、というのは、働く子育てママの望みです。こ

の料理体験を皆さまと共有して、それぞれの地域の党活動に役立てていただきたい」と述べました。

今回の料理について、東京ガス「食」情報センターの杉山智美さんより説明がありました。日本の料理と類似点のあるイタリア料理に触れ「今回の料理体験のコンセプトは「ラ・クチャー・エスプレッサ」です。イタリア語で「クチャー」は「料理」、「エスプレッサ」は「早い」です。直訳すると「スピード料理」ですが、単に手早く作るだけの料理ではありません」と杉山さん。ポイント

時間は比較的長いので、他の調理も同時進行し、パスタが茹で上がった頃には全ての料理が完成しているように段取りを考えます」と杉山さんは解説しました。

その後、クッキングスタッフの齊藤真理子さんによる料理のデモンストレーションがスタート。3つ口コンロとグリルの4つの火力を使い分け、4品を20分で調理。一番火力の強いコンロでは中華鍋を使って「グリーンピースとほたてのパスタ」を、標準火力のコンロで「季節の野菜の素揚げ」を、火力の弱いコンロで「新玉ねぎのスープ」を、そしてグリルで「グリルハーブチキン」を同時に作っていききました。その段取りと料理のスピードに参加者から感心の声が上がりました。



料理のコンセプトなどを説明する東京ガス「食」情報センターの杉山智美さん



デモンストレーションをする齊藤真理子さん。底が丸い中華鍋は、炎が無駄なく鍋底を加熱するため、調理時間を短くできることを説明



「家族の絆をつなぐ“食”を大切にしていきたい」とあいさつする東京ガス(株)三神正博取締役・常務執行役員



「働く女性・母親にとってぴったりの企画です」とあいさつをする三原じゅん子女性局長

の料理教室 そして未来へ

炎の料理教室 そして未来へ

東京ガス「食」情報センター



完成した4品を試食する参加者



試食しながら、味付けや調理の手際など様々な話題で盛り上がった



蜂谷弘美岡山県連女性局長

中華鍋でパスタを茹でるなどの時短調理のコツを知ることができました。味付けのメリハリも効いていて、4品のバランスもよかったです。



安居知世石川県連女性局長

働く女性にとってはありがたい料理で、調理していて楽しかったです。このような企画を石川県連でもやってみたいと思いました。



千葉とき子岩手県連女性局長

20分で4品の料理ができることは素晴らしいです。おいしいですし、個人的には素揚げが気に入りました。とてもいい経験になりました。



満開の桜の下で
交流を深めた「桜を見る会」

翌日の4月12日、安倍晋三総理主催の「桜を見る会」が東京・新宿御苑で開かれました。八重桜が満開に咲き誇る中、各界の著名人約1万4千人が参加。女性局の各都道府県連ブロック代表者らも参加し、記念撮影をするなど交流を深めました。



デモンストレーションを見ながら、参加者も調理のポイントをしっかり確認



参加者と手順を確認しながら調理する大沼みずほ女性局次長



調理しながら笑顔がこぼれる宮川典子女性局次長



杉山智美さん、齊藤真理子さんと一緒に。
三原じゅん子女性局長、宮川典子女性局次長、大沼みずほ女性局次長



慣れた手つきで料理する三原じゅん子女性局長